

日本の展望委員会（第1回）議事要旨

1. 日 時：平成20年6月5日（木）8：30～9：30
2. 場 所：日本学術会議6-C（1）会議室
3. 出席者：金澤委員長、広渡副委員長、唐木幹事、海部幹事、浅島委員、
鈴村委員、土居委員、北島委員（欠席：佐藤委員、柘植委員）
（事務局）谷口局長、綱木次長、井上企画課長、廣田参事官、
信濃参事官 他
4. 議 題：1) 委員長、副委員長、幹事の選出
2) 本委員会設置の趣旨説明
3) テーマ別検討分科会のテーマについて
4) 検討方向や課題についての意見交換
5) 今後の進め方について
6) その他
5. 資 料：資料1 日本の展望委員会 委員名簿
資料2 日本の展望委員会 運営要綱（幹事会決定）
資料3 「日本の展望－学術からの提言（仮題）」についての考え方
（総会配布資料）
資料4 テーマ別検討分科会でとりあげるべきテーマの候補
資料5 柘植委員提出資料
資料6 日本の展望委員会 今後の進め方(案)
参考1 日本の計画
参考2 日本の科学技術政策の要諦
6. 議事概要
 - (1) 議題 1) 委員長、副委員長、幹事の選出
委員の互選により、金澤委員を委員長に選出した。その後、委員長が、副委員長に広渡委員を、幹事に唐木委員及び海部委員を指名し、委員会の同意が得られた。
 - (2) 議題 2) 本委員会設置の趣旨説明
金澤委員長から、資料2、資料3により本委員会設置の趣旨説明が行われた。
 - (3) 議題 3) テーマ別検討分科会のテーマについて
事務局から、資料4によりテーマ別分科会でとりあげるべきテーマ候補を検討するために行ったアンケート調査（デルファイ法の手法を活用）の結果等について説明があった。

その後、広渡副委員長から、アンケート調査の結果を基に、第18期「日本の計画」に示されている4領域（①人類の生存基盤の再構築、②人間と人間の関係の再構築、③人間と科学技術の関係の再構築、④知の再構築）を念頭に、各都府県が相談してテーマ候補を整理した結果（資料4 別添2）について説明があった。

分野別委員会等で現在行っている関連するテーマの検討は引き続き行うこととし、分野別委員会等の議論も取り込みつつ、日本の展望委員会としての議論を行う。

委員会できりまとめられたテーマは以下のとおり。

- テーマ1 現代市民社会における教養・教養教育 ―21世紀のリベラルアーツの創造
- テーマ2 基礎科学の推進、政策および長期展望 ―学術の発展戦略
- テーマ3 持続可能な世界をいかに構築するか ―人類の未来問題
- テーマ4 地球環境科学と人類的課題 ―その要請にいかに応えるか
- テーマ5 世界とアジアのなかの日本 ―日本の役割
- テーマ6 大学の役割と人材の育成 ―大学と社会の連携
- テーマ7 社会における安全とリスク ―社会・科学技術・政治の協働
- テーマ8 現代における私と公、個人と国家 ―新たな公共性の創出
- テーマ9 電子情報社会の課題と展望 ―デモクラシー・経済・学術・文化・セキュリティ
- テーマ10 安定した社会の再生産システム ―家族・ジェンダー・福祉・医療・雇用

なお、第1回で積み残しとなった「検討方向や課題についての意見交換」をe-mailで実施する。（次回（9月）の日本の展望委員会までに、テーマ別作業分科会と分野別作業分科会で何を検討するか（当面のタイムスパン、アウトプットの検討）など）

また、テーマ別作業分科会における検討を円滑に進めるため、テーマ毎の検討範囲、検討の方向性を整理する。

学術会議の過去（18期以降）にきりまとめられた又は今後きりまとめられる意思の表出のうち、各テーマに関するものの洗い出しを行う。

（4）その他

日本の展望委員会は、総会の前など節目毎に開催する（次回は9月に開催）。

人文・社会科学作業分科会、生命科学作業分科会、理学・工学作業分科会の第1回は合同開催とする。

テーマ別作業分科会については、幹事会（6月）において、設置要綱改訂（テーマ別作業分科会の追加）、テーマ別作業分科会委員の了承後、委員会を開催する。